

第5回検討委員会における意見と対応

第5回検討委員会における意見と対応

- (1) L1地震動・津波浸水予測
- (2) L1地震による液状化及び土砂災害
- (3) L2半割れ（時間差）
- (4) 被害想定（建物被害・人的被害）
- (5) 被災シナリオ・被害様相

第5回検討委員会における意見と対応

(1) L1地震動・津波浸水予測

No	項目	意見	対応(回答)
1	地震動	L1とL2の結果を比較して、揺れが卓越するような場所を整理すると理解がしやすくなる。	地形などとの比較によって揺れやすい場所を整理する。
2	堤防条件	コンクリート堤と盛土堤を区別する図があると良い。	表現が可能か検討する。
3	地震動の予測手法	L1震度分布が山地部が前回よりも小さくなっているところがある。経験式を使うとある程度改善される。	L1については経験的手法を考慮した予測を行う。

(2) L1地震による液状化及び土砂災害

No	項目	意見	対応(回答)
4	L1とL2	L1とL2とで異なる点を整理してほしい。L1レベルでも規模で液状化することを県民は認識していない。	L1、L2の結果について比較する。高知県防災マップ上で切り替えて見られるように整備予定である。
5	建物被害	建物の杭が損壊して継続使用できなくなったときの対応とか被害様相を記すときに配慮いただきたい。	被害様相で書き加えることを検討する。
6	液状化	液状化する場所と津波で浸水地点を重ねると津波避難困難さの把握に繋がる。様相で示す示唆に同じページに図があると良い。	図面作成を検討する。

第5回検討委員会における意見と対応

(3) L2半割れ (時間差)

No	項目	意見	対応 (回答)
7	津波高さ	L2の半割れとL1の半割れに津波の高さがほとんど変わらないかもしれない。	逆転現象が起きる可能性があることから、この点も含めて整理していきたい。
8	半割れケース	東半割れが先行する場合、どのような被害が想定されて、どのような支援体制をとれるかが重要。半割れについても具体的な事例について検討が必要と考える。	半割れがどのように起こるかは様々なパターンがあり、全てを網羅することは現状難しいが、代表的な例を対象に被害の推計を示していく。

(4) 被害想定 (建物被害・人的被害)

No	項目	意見	対応
9	空家	死者に関しては人が住んでいる家が対象だが、瓦礫撤去では空家も含まれる。	全国的な問題であるが、具体的な反映方法がないのが現状である。記録として残すようにする。今後の課題として示すようにする。

(5) 被災シナリオ・被害様相 ①

No	項目	意見	対応
10	人物設定	公務員は沿岸部と高知市でも若干違うと思うので、ここでピックアップする必要があるかも含め、検討いただきたい。	一般の県民向けシナリオであるため、公務員の人物設定は増やさないこととする。
11	〃	公務員を内陸部に加えたことは大変意義がある。ただし、内陸部の方しか見ないので、人物像の公務員の区分はいらぬのではないか。	勤務のローテーションの必要性などに主眼があるので、内陸部での状況もある程度一般化できると考える。地域区分の削除は、シナリオのリアリティ (具体性・現実感) が低下するため、このままとする。

第5回検討委員会における意見と対応

(5) 被災シナリオ・被害様相 ②

No	項目	意見	対応
12	詳細シナリオ	高知県は消防団に依存している部分がかかなりある。1日目の消防団の活動を説明されると良い。	準公務員的だが民間人でもあり、どの自治体にもいるので、沿岸部に1つ人物像を追加した。
13	人物設定	医療従事者も多い。支援する立場の医療従事者を想定する場合は、公務員あるいは消防団などで代表していただいても良い。	沿岸部に、災害拠点病院の看護師を追加した。
14	詳細シナリオ	漁業関係者のシナリオに関しては場所によって津波の到達時間が異なるので、考え方を整理した方が良い。	国等のガイドラインでは、津波警報時に陸上にいる場合は、船に行かずに、すぐに避難することになっているため、シナリオは、被災地点の漁港から即座に旅館に戻る形に修正した。
15	詳細シナリオ	人物像によらない行動については2日目以降も用意いただくと良いのではないかと。	残りに2つのステージも、新規に作成した。
16	使い方について	シナリオの見方や使い方、対策などを示すなどの工夫で、読んでもらえるようにするのが良い。	できるだけ15のシナリオを読んでいただけるように、その価値（読む意味）を啓発するページを作成した。
17	詳細シナリオ	対策をしていない場合の提示は指示的な印象を与えることになり、効果が疑問である。一般的に説明するような別も被害想定に加えていただいて、人物像を中心に記載する形で良いのではないかと。	シナリオは、適切な行動ができた形で作成しているが、できなかった場合の課題を別途明らかにするために、もし対策をしていないケースも、シナリオの分岐的な意味合いとして、そのままにする。
18	詳細シナリオ	地域ごとに人物を入れたから無理がある。沿岸部、内陸部、高知市と描くのは被害の様相を描くことにして、横軸に役割ごとに入れていき、地域に特化するような役割に変化があるのであればそれだけを得出しするような描きの方が最終的には書いていきやすいのではないかと。	地域を外して、人物ごとの役割や推奨行動を書いても、防災マニュアルのようになってしまう。生き生きとしたリアルな描写から関心を持ってもらうことが「シナリオ」の目的なので、これまでどおりの記載にしたい。